

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	定住促進住宅管理費	担当課	営繕住宅課
事業内容(簡潔に)	市内に居住を希望する方への住宅の提供、定住化の促進		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	政策	快適に暮らすための生活環境の充実	
	施策	住宅・宅地の整備	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市定住促進住宅条例

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	市内に住居を必要とする者へ住宅を提供し、市内人口の増加及び定住化を促進する。
事業の手段	指定管理者による管理・運営 指定管理者：甲府ビルサービス(株) 協定機関：平成29年4月1日～R3年3月31日（平成23年度より指定管理） 管理住宅：サコホーラス（79戸）R3.3.31廃止、サコホーラス藤井（80戸）、サコホーラス祖母石（78戸） サコホーラス竜岡（80戸） 全317戸
事業の対象	住宅利用希望者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財源内訳	A 事業費 (千円)	57,317	169,307	80,792
	国・県支出金	11,219	51,212	17,447
	その他(使用料・借入金ほか)	46,098	118,095	63,345
	一般財源			
B 担当職員数(職員E) (人)	0.6	0.6	0.6	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	4,395	4,029	3,945	
D 総事業費(A+C) (千円)	61,712	173,336	84,737	
主な事業費用の説明	施設修繕費、指定管理委託料 R元年度:サンコーボラス藤井 2号棟 外壁棟改修工事			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 入居戸数 3月31日現在	栄、祖母石、藤井、竜岡 4住宅の入居戸数 (戸)	200	192	173
	2 使用料徴収額(現年)	栄、祖母石、藤井、竜岡 4住宅の使用料徴収額 (千円)	82,674	84,041	82,112
	3 改修工事費	長寿命化・住環境向上のための 改修工事費用 (千円)	24,937	124,854	51,535
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	令和3年3月31日廃止となったサンコーボラス栄住宅からの退去により、入居戸数は減少。			
	2	契約に基づき入居部屋に応じた使用料を徴収している。			
	3	長寿命化計画に基づき、3箇所給湯設備への改修や、畳部屋の一部フローリング化など、住環境の向上に努めている。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	入居率 (栄住宅を除く) (%)	63.09 (68.06)	60.56 (72.69)	54.57 (72.69)
	2	徴収率 (%)	99.15	98.88	99.82
	3	一戸あたりのコスト (千円)	309	903	490
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	R3.3.31をもって廃止となったサンコーポラス栄からの退去により、入居率は低下している。			
	2	管理人との情報共有及び、滞納者へのきめ細やかな納付指導等により、現年度分の徴収率は向上している。			
	3	住宅の長寿命化や、利便性の向上のための改修により、一戸あたりのコストは高くなるが、入居率の向上につながり、使用料を充当することが可能となる。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 長寿命化計画に基づき、引き続き改修工事等を実施し、入居率の向上につなげる。			
過去の改善経過	改善の経過	H24～ 定住促進住宅家賃助成金交付要綱により、転入者の家賃の一部を助成 (¥10,000/月) H27～ 要綱改正により、新婚世帯も助成金の対象として拡充		
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 — <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	サンコーポラス藤井・竜岡については、引き続き末改修の給湯改修関連工事を実施していくとともに、サンコーポラス祖母石についても、一部改修工事により利便性を高め、入居率を向上させる。回収不能な使用料につき不能欠損できるように制度を規定する。			
課長所見	今年度末をもってサンコーポラス栄住宅が用途廃止のため実績は下がったが、残り三住宅は安定した入居率を維持している。			